



貨幣の世界

5

貨幣同士の識別を簡単にしたり、偽造しづらくするためには、円形以外の貨幣の形が採用されることもあります。前回に続き、近代以降の多角形を中心とした貨幣を紹介しましょう。

形

その4

現代の貨幣

国もいろいろ形もいろいろ (2)

七角形

英国およびいくつかの英連邦諸国など、意外に多くの国で七角形の貨幣が日常的に使われています。この特殊な形を採用した理由は、同じ程度の大きさの貨幣と見た目・手触りで容易に区別がつくようにするためだそうです。

英国等では日常的に使われる貨幣(写真1)のみならず、七角形の記念貨幣も発行されています(写真2)。

八角形

日常的に使う貨幣に八角形のコインを採用している国は、南北に細長い南米の国チリをはじめ数カ国あります(写真3)。また、マルタは、当初記念貨幣として発行し、その後素

材を変更して日常的に使用する貨幣を発行しました(写真4)。その他、シエラレオネ等でも記念貨幣が発行されています(写真5)。

九角形

九角形の貨幣を使用している国は、南太平洋の国ツバルやカナダが挙げられます。ここでは、大型のツバルの白銅貨をご覧ください(写真6)。また、欧州のオーストリアでは、数多くの記念貨幣を発行しています。その中から、音楽の都ウィーンを首都にする国らしい「ニューイヤークンサート」をモチーフにした貨幣を紹介します(写真7)。

今回はさらに「角」が立ちます。

写真1(1969年発行)は、重量13.5g、一つの頂点から垂直に対辺まで引いた長さは約30mmです。一方、写真2(2011年発行)は1997年から発行された日常用の貨幣と同サイズで、重量8g、約27mmと若干小型になりました。さらに、エリザベス二世女王の肖像も異なっていることにお気づきでしょうか。英国国歌にある“Long to reign over us(御代の長からんことを)”にふさわしく、1952年に即位し、2016年に90歳、2017年に即位65年(サファイア・ジュビリーといひます)という時を経ている女王は、貨幣における肖像も年齢にあわせて変更され、計5種類あります。今回ご紹介する50ペンス貨幣の肖像は、2種類目と4種類目にあたります。

写真1裏面/英国は1970年より1ポンド=100ペンスという十進法を採用し、それに合わせて1969年より七角形の50ペンス硬貨の製造を始めました。その際、従来の1ポンド=20シリング=240ペンスの貨幣とは異なることを示すため、写真の貨幣には“NEW PENCE”と刻印されています(現在の貨幣は、NEWの表記はありません)。

写真2裏面/サッカーのルールで分かりづらいとされる「オフサイド(=待ち伏せ禁止ルール)」が図で示されています。攻撃側選手(▲)がパス(→)をした瞬間に、味方の最前の選手(▲)とゴールとの間に相手ゴールキーパー以外の守備選手(■)が一人もいなければ(左側の→印の場合)オフサイド、一人(真横でも可)でもいれば(右側の→印の場合)オフサイドではない、ということを表しています。

写真2 英国 2012年ロンドンオリンピック記念50ペンス白銅貨



裏面



写真1 英国 50ペンス白銅貨



裏面



貨幣の「表」と「裏」

サッカーの試合等でボールを最初に蹴るチームを選ぶため、貨幣を投げて、表と裏のどちらが出るかで決める、という光景をご覧になった方も多いかと思われます。この時、「はて、貨幣のどちらが表でどちらが裏だろうか?」と思われた方もいらっしゃるでしょう。

日本の貨幣の場合、実は、現在の法律上、表裏が定められていません。ただし、造幣局では、便宜上年号がある方を「裏」として取り扱っているそうです。

他国の場合、特に君主の肖像を使っている場合、往々にして肖像のある方を表としています。また、ユーロ貨幣の場合は、表裏ではなく、全ユーロ参加国で同じデザインの「共通面」とユーロ参加国が独自にデザインを決められる“national side”になっています。

写真6 ツバル 1ドル白銅貨 (1976～1985年発行)



ツバルは英連邦に所属しています。他の英連邦の諸国と同様に表面にはエリザベス二世女王の肖像、裏面は南太平洋の国らしくウミガメです。
(直径約 33mm、重量 16g)

写真7 オーストリア 5ユーロ銅貨 (2016年発行)



新年に行われる「ニューイヤーコンサート」の記念貨幣です。ウィーンにあるムジークフェライン (楽友協会) の黄金のホールで演奏するオーケストラと指揮者です。なお、オーケストラはウィーンフィルハーモニー管弦楽団であることは明らかですが、指揮者は特定の誰かというわけではないようです。
(直径約 28.5mm、重量 8.9g)

写真3 チリ 5ペソ黄銅貨 (1992年～発行)



多少のデザイン変更を伴いつつも、1992年から現在に至るまで発行されています。貨幣に描かれた男性は、Bernardo O'Higgins 将軍 (1778～1842年) です。彼は、スペインからチリを独立させ (1818年)、同国の初代の元首となった人物です。
(直径約 16.4mm、重量 2.2g)

写真4 マルタ 25セント青銅貨 (1975年発行)



地中海の中央部に浮かぶ島国マルタは、1964年に英国から独立、1974年に共和国となりました。1975年に共和国1周年を記念して八角形のコインが発行されました。サイズは直径約30mmと我が国の500円硬貨 (直径26mm) よりも大きな貨幣です。なお、マルタは、2008年よりユーロを採用しています。
(直径約 30mm、重量 10.6g)

写真5 シエラレオネ 1レオーネ銀貨 (1987年発行)



アフリカにあるシエラレオネの首都、フリータウン建設200周年を記念して発行されました。シエラレオネとは、ポルトガル語の「ライオン」が語源とされます。
(直径約 28.2mm、重量 9.5g)

(写真はすべて個人蔵)